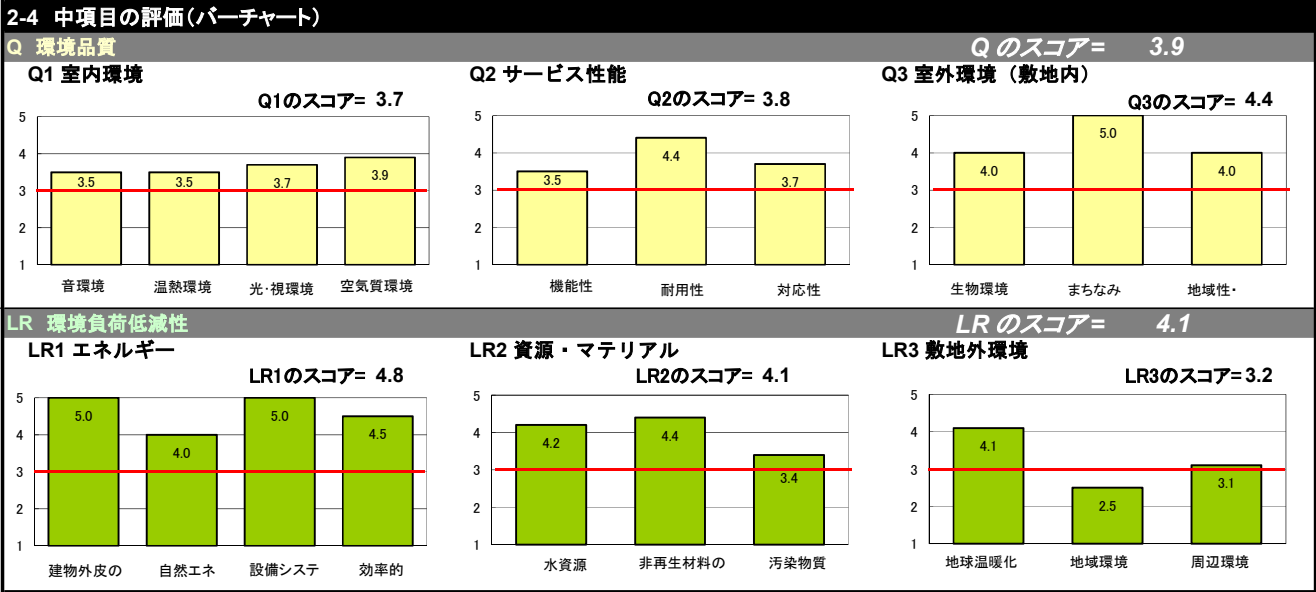
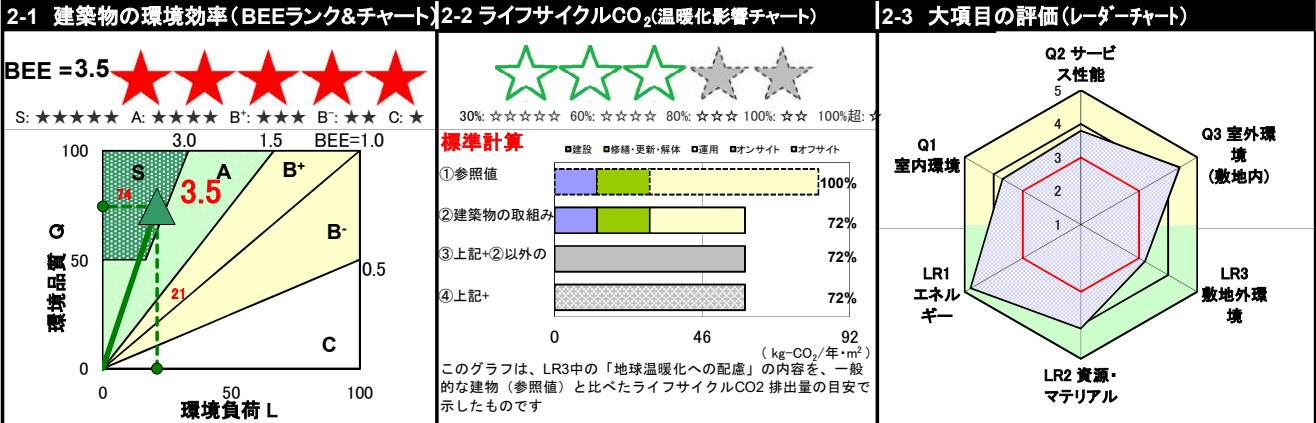


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	府中市新庁舎	階数	地上6F 地下1F	
建設地	東京都府中市	構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	900 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,880 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2024年7月29日	
敷地面積	11,634 m ²	作成者	株式会社久米設計	
建築面積	6,349 m ²	確認日	2024年7月29日	
延床面積	32,301 m ²	確認者	株式会社久米設計	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
東京都府中市の新庁舎である。 敷地内や建物への積極的な緑化を行い、室外環境の快適性の向上に配慮している。 テラスや通り庭による地域の活動やにぎわいに貢献している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・遮音性能の高いサッシを採用している。 ・天井裏も含めてF☆☆☆☆の建築材料を使用し、十分な換気量を確保する等、室内空気質環境を良好に保つための配慮をしている。	・耐用年数の長い内装仕上げ材を採用し、更新必要間隔に配慮している。 ・階高や荷重にゆとりを持たせ、建物の対応性に配慮している。	・外構だけでなく、積極的に建物を緑化することにより、生物環境の保全に配慮している。 ・排熱機器を上階に設置し、温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。 ・自然エネルギーを利用している。	・節水器具の採用により、水資源保護に配慮している。 ・既存躯体を再利用し、非再生資源の使用量削減に配慮している。	・高効率な設備機器を導入により、CO ₂ 排出量の低減を図り、地球温暖化へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
府中市新庁舎

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.9
Q1 室内環境								3.7
1 音環境				3.5	0.15	-	-	3.5
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		-		4.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		遮音性能T-2以上		5.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		Dr35~Dr40		3.1	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		-	-	-	-	
1.3 吸音		一部の執務室は床、天井の二面に吸音材を採用		3.2	0.20	-	-	
2 温熱環境				3.5	0.35	-	-	3.5
2.1 室温制御		-		3.1	0.50	-	-	
1 室温		-		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		室内への熱の侵入に対して配慮している		3.7	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		-		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		加湿・除湿機能有、冬期40%夏期50%の湿度設定		4.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		床吹き出し空調の採用		4.0	0.30	-	-	3.7
3 光・視環境				3.7	0.25	-	-	
3.1 昼光利用		-		2.4	0.30	-	-	
1 昼光率		-		2.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		-		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		-		4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		ブラインドと庇による昼光制御		4.0	1.00	-	-	
3.3 照度		全般照明方式 500lx以上1000lx未満		4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		細かな照明制御・リモコンで調整可能		5.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				3.9	0.25	-	-	3.9
4.1 発生源対策		-		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		全面的に告示対象外又はF☆☆☆☆の建築材料を採用		4.0	1.00	-	-	
4.2 換気		-		3.2	0.30	-	-	
1 換気量		換気量30m ³ /h人以上		4.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		自然換有効開口面積:居室の1/30以上		4.7	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		-		1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		-		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		CO ₂ の常時監視システム、管理マニュアルの整備		5.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		屋内禁煙		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.8
1 機能性				3.5	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		-		2.1	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		-		1.4	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-		1.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満足		4.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		-		4.9	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		平均天井高≥2.7m、十分な窓の設置		4.7	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースの確保、自販機の設置		5.0	0.33	-	-	
3 内装計画		建物全体のコンセプト、機能促進に配慮した内装計画		5.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		-		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い内外装仕上げの採用等		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃用資材の保管スペースや専用の流しの設置等		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				4.4	0.30	-	-	4.4
2.1 耐震・免震・制震・制振		-		5.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する		5.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		免震装置の導入		5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		-		3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		タイルカーペット、塗装、ロックウール化粧吸音板		5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		浴室・厨房排気系統にステンレス鋼板を採用		5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種以上にC以上を使用		4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		-		4.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		災害時の重要度の高い系統の優先運転計画、吊配管、熱源種の分散化		5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水器具の採用、災害用汚水栓・非常時給水栓の設置、井水利用		5.0	0.20	-	-	
3 電気設備		非常用発電機・UPSの設置、本線・予備線方式の採用、浸水対策		5.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		通信手段の多様化、引込みの2ルート化、浸水対策、UPSの設置、CATV等による災害情報入手手段の確保		5.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.3	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		床用積載荷重4500N/㎡以上	4.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	4.4
1	生物環境の保全と創出		屋上緑化、自生種の保全等に配慮した植栽計画	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮		まちなみに配慮した景観計画	5.0	0.40	-	-	5.0
3	地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	災害時一時避難場所や備蓄倉庫の設置等	5.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	4.1
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.8
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.69	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		屋光利用、通風利用	4.0	0.10	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化		BEI _m =0.58	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用			4.5	0.20	-	-	4.5
	集合住宅以外の評価			4.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	4種類以上のシステム性能評価が可能	5.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	運用管理方針・体制表の策定、エネルギー消費量の目標値の設定	4.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	4.1
1	水資源保護			4.2	0.20	-	-	4.2
	1.1	節水	自動水栓・節水型便器等を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		4.4	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	井水利用率20%以上	5.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			4.4	0.60	-	-	4.4
	2.1	材料使用量の削減	F _c =36以上、かつF=390以上の材料を使用等	5.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	既存杭の再利用	5.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	トイレ等のビニル床シート、ロックウール化粧吸音板、路盤材	5.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.4	0.20	-	-	3.4
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.6	0.70	-	-	
	1	消火剤	不活性ガス(窒素)の採用	4.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンの発泡剤を使用	4.0	0.33	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮		CO2排出率=72%	4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1	大気汚染防止	—	1.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	基本蓄雨高100mm以上	5.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	渋滞緩和に配慮した駐車場計画	4.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画	4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

府中市新庁舎

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	7.0		○	○	-	-	○	-		○	○	○	-	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	7.0		-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	4.0		-	○	○	○	○								
2.4.2 給排水・衛生設備	4.0	4.0	○	-	○	-	○	-	○						
2.4.3 電気設備	4.0	3.0	○	○	○	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	5.0		○	○	○	-	○	○							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	10.0		2.0	-	2.0	1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	6.0		2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	6.0		-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0					
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0		-	1.0	-	1.0	-	2.0	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	2.0		-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	5.0		1.0	-	4.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-									
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	9.0		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	3.0	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		-	-	1.0	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-		-	-	-	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)		
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH
屋光率	0.9～2.381%			
自然換気有効開口面積率	0.055～0.128			

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	≤7.51㎡/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
--------	----------	----	---	----	------	---	-----	---

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	-	VA/㎡						
---------	---	------	--	--	--	--	--	--

1.2.1 広さ感・景観

天井高	2.4~3.9f	m						
-----	----------	---	--	--	--	--	--	--

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	1.4%	レストスペース	-					
------------	------	---------	---	--	--	--	--	--

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	-	年						
--------	---	---	--	--	--	--	--	--

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	15	年						
--------	----	---	--	--	--	--	--	--

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20	年						
--------	----	---	--	--	--	--	--	--

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	15	年						
--------	----	---	--	--	--	--	--	--

3.1.1 階高のゆとり

階高	4	m						
----	---	---	--	--	--	--	--	--

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	17.1%							
-------	-------	--	--	--	--	--	--	--

3.2 荷重のゆとり

床荷重	4900	N/㎡						
-----	------	-----	--	--	--	--	--	--

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	31%	建物緑化指数	8%					
--------	-----	--------	----	--	--	--	--	--

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	45%	水平投影面積率	6%	地表面対策面積率	17%	舗装面積率	37%	
-----	-----	---------	----	----------	-----	-------	-----	--

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.69	断熱等性能等級	対象外	相当				
----------------------	------	---------	-----	----	--	--	--	--

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0	MJ/年㎡	採光を満たす教室数	-	採光を満たす住戸数	-		
--------------	---	-------	-----------	---	-----------	---	--	--

			通風を満たす教室数	-	通風を満たす住戸数	-		
--	--	--	-----------	---	-----------	---	--	--

3 設備システムの高効率化

BEI/BEI _m	非住宅	0.58	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	-----	------	----	---	-----	------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	55.2%							
-------	-------	--	--	--	--	--	--	--

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	ビニル床シート、Ecoマーク商品	ロックウール化粧石膏ボード指定の特定品目等	-					
--------	------------------	-----------------------	---	--	--	--	--	--

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%							
------	------	--	--	--	--	--	--	--

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	0					
---------------	---	--------------	---	--	--	--	--	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	≤3					
---------------	---	--------------	----	--	--	--	--	--

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-					
---------------	---	--------------	---	--	--	--	--	--

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	80%	隣棟間隔指標Rw	0.37					
-------	-----	----------	------	--	--	--	--	--

地表面対策面積率	27.0%	屋根面対策面積率	12.0%	外壁面対策面積率	0.0%			
----------	-------	----------	-------	----------	------	--	--	--

見付面積S _b	2,924㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	136.171	m	基準高さH _b	26.88	m	
--------------------	--------	------------------------------	---------	---	--------------------	-------	---	--

緑地	1,317㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡
----	--------	----	---	--------	---	--------	---	----------	---